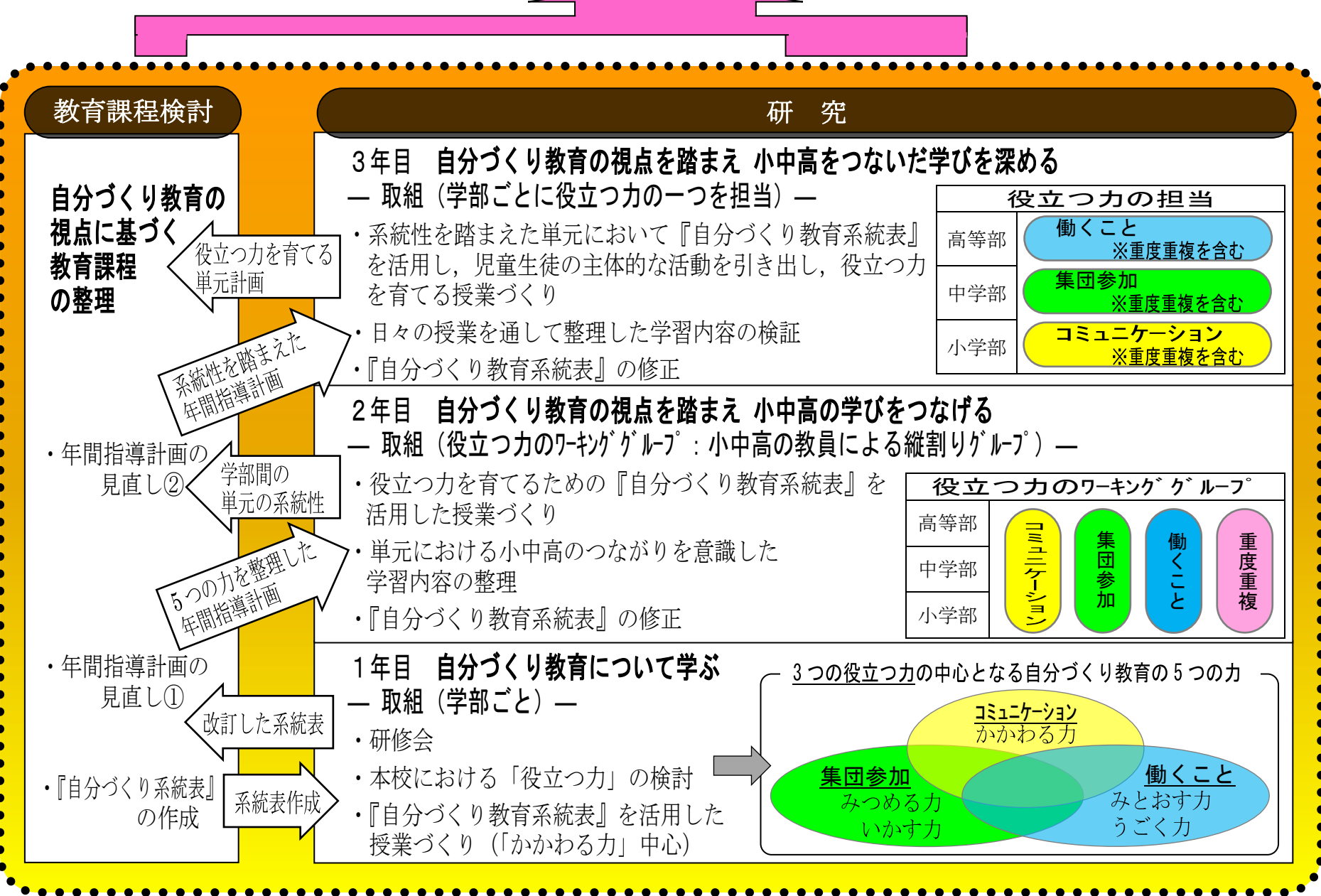


研究の全体構想図

学校教育目標
一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ると共に、互いの関わりの中で健康でたくましく生きる力を身に付けた児童生徒の育成に努める。

目指す児童生徒像
◇ 明るく元気な子 ◇ 自分でやろうとする子 ◇ 仲良く助け合う子 ◇ 喜んで働く子

期待される成果
年間指導計画 ↔ 「コミュニケーション・集団参加・働くこと」が育つ授業 ↔ 『自分づくり教育系統表』



研究主題 『卒業後の生活に 役割つ力を育てる 授業づくり』
— 仙台自分づくり教育の視点から —

研究目標
自分づくり教育の視点を取り入れて小学部から高等部までの教育内容をつなげ、「卒業後の生活に役割つ力」を育てるための授業の在り方を探る。

研究仮説
自分づくり教育の視点を取り入れた授業実践を重ねれば、12年間を系統立てた教育内容の改善が図られ、児童生徒のコミュニケーションや集団参加、働くことについての力が育つであろう。

教育課程の課題

- ・ 重度重複児童生徒の増加
- ・ 児童生徒の多様な実態
- ・ 小中高における指導の系統性が不十分 など

本校教員の捉える児童生徒の課題

- ・ 意思表示
- ・ コミュニケーション
- ・ 集団行動
- ・ 情緒の安定
- ・ 目標設定
- ・ 集中の持続
- ・ 挨拶・返事・報告
- など